

# 社会資本整備総合交付金チェックシート

計画の名称：東海道を核とした歴史的街なみ環境整備

事業主体名：亀山市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①上位計画等との整合性が確保されている。	○
②地域の住宅・建築ストックや住環境整備の状況等、現状分析が適正になされている。	○
③地域の課題を的確に踏まえた目標となっている。	○
④緊急性の高い課題に取り組む内容となっている。  (該当するものに○) ア 老朽化した住宅ストックの更新      イ 安全面、衛生面等の居住環境の改善 ウ 子育て世帯、高齢者、障害者等の居住の安定の確保      エ 既存住宅ストックの有効活用 オ まちなか居住の推進      カ 地方定住の推進      キ 住宅・建築物の安全・安心確保 ク 良好な住環境の整備      ケ 地域の特色ある街並みの整備 キ その他(地域の実情に応じた緊急性の高い課題を記入)	○       キ、ク、ケ
II. 計画の効果・効率性	
①事業内容は、計画の目標を達成する上で適切なものとなっている。	○
②十分な事業効果が得られることが確認されている。	○
③事業効果は、数値、指標等を用いて客観的に示されている。	○
④地域の実情に応じた創意工夫に基づく事業が盛り込まれている。	○
III. 計画の実現可能性	
①事業熟度が十分である。	○
②計画内容に関し、住民に対する説明等が行われている。	○
③事業の実施に当たり、自治会、商店組合など地元組織との連携が図られている。	○